

	～豪華絢爛な時代絵巻を華麗に演じる～ 「第 38 回照姫まつり」の主役三役が決定！
と き	2 月 9 日（日） 発表
と こ ろ	練馬区立生涯学習センターホール（豊玉北 6 丁目）
第38回「照姫まつり」の主役三役が決定した。 練馬区立生涯学習センターでオーディションが行われ、38代目となる照姫の座には、区内在住の山本 ぴんく（やまもと ぴんく）さんが、多数の応募者の中から選ばれた。山本さんは「小さな頃から歴代の照姫を見てきて憧れていた。自分も照姫になりたいという強い思いがかなってうれしい」と、照姫まつりへの意気込みを語ってくれた。 豊島泰経役には、酒井 伸幸（さかい のぶゆき）さん、奥方役には、赤谷 早紀（あかたに さき）さんが選ばれた（共に区内在住）。 照姫まつりは、4 月20日（日）に都立石神井公園とその周辺で開催する。	



▲左から酒井さん、山本さん、赤谷さん

【照姫まつりとは】

照姫まつりは、室町時代の石神井城主豊島泰経とその娘「照姫」にまつわるまつり。

照姫は、室町時代中期に石神井城を本拠地とし、栄華を極めていた豊島泰経（としま やすつね）公の娘として語り継がれている。戦乱の中、泰経公は宿敵太田道灌（おおた どうかん）に攻め滅ぼされ、現在の石神井公園にある三宝寺池に飛び込んだ。愛娘の照姫は、泰経公の最期をみると、悲しみのあまり自らも池に身を投げ、命を絶ったと言われている。



▲昨年の照姫まつりの様子

【最大の見どころは「照姫行列」】

照姫まつり最大の見どころは、照姫、泰経公、奥方を中心に、華やかな衣装の照姫や勇ましい武者に扮した約 100 人が石神井公園周辺を練り歩く照姫行列。

石神井公園内の野外ステージで行われる出陣式は、泰経公の掛け声で家臣たちが「エイエイオー！」という勇ましい関（とき）の声をあげる様子や、照姫や奥方等の美しい舞に会場は大いに盛り上がる。

（昨年来場者数：53,000 人）



▲照姫行列の様子